

東京外かく環状道路（関越道～東名高速）の検討経緯

昭和41年 7月	都市計画決定（東京・埼玉県境から東名高速まで）
昭和45年10月	建設大臣が「地元と話し得る条件の整うまでは強行すべきではない」旨の答弁
平成 4年11月	常磐道～和光IC間供用
平成 6年 3月	和光IC～関越道間供用
平成10年 3月	東京都が建設省・関係区市からなる「東京外郭環状道路とまちづくりに関する連絡会」を設置
平成11年10月	東京都知事が武蔵野市、練馬区の現地を視察
12月	東京都知事が「自動車専用部の地下化案を基本として計画の具体化について取り組む」ことを表明
平成12年 4月	東京外かく環状道路に関する地元団体との話し合いを開始
平成13年 1月	国土交通大臣が、三鷹市、武蔵野市の現地を視察
平成13年 4月	現計画を地下構造に変更する「東京外かく環状道路（関越道～東名高速）の計画のたたき台」を公表
平成13年 5月	国土交通大臣が参議院国土交通委員会で「遺憾の意」を表明
12月	「東京環状道路有識者委員会」設置
平成14年 1月	東京外かく環状道路（関越道～東名高速）沿線区市長意見交換会開催
6月	「P I 外環沿線協議会」発足
10月～	沿線区市で「外環相談所」開催
11月	「東京環状道路有識者委員会」が国と東京都に対して最終提言
平成15年 3月	国と東京都が「東京外かく環状道路に関する方針」公表
6月～	沿線区市で「オープンハウス」開催
7月	「環境影響評価方法書」公告・縦覧
平成16年 1月～	沿線の環境調査を開始
5月	沿線区市で「地域毎の話し合い」開催
10月	「P I 外環沿線協議会」2年間のとりまとめ
平成17年 1月～	「P I 外環沿線会議」開催